

## 2008年8月4日第4回WS報告

富山の農村を見て、撮った！ ー高校生、地域の人と触れ合うー

前半の仕上げとなる3日間連続のワークショップがスタートしました。  
富山のとある農村の組合長さんから高校生にお願いが！？

「たくさんの人たちにこの土地のことを知ってもらいたい。全国の皆さんにPRする宣伝を作って！」

そんな声に応えるべく早起きをしてマイクロバスで一路富山県氷見市の久目地区に乗り込んだのです。ここは串柿の畑や棚田が広がる山あいの集落なのですが、参加した10人の高校生にとっては縁もゆかりもないはじめて足を踏み入れた場所。

バスを降りたある女子の第一声「山の匂いがする！」



事前に「コンビニなんか無いからね！」と知らせておいたので、みな水筒やペットボトル持参。午前中はノリがいまいちだった生徒たちですが、弁当を食べたらいきなり元気になりました。ロケハンして、農家の人たちに取材して、みな汗だくになりながらもチームごとに作戦をたてながらカメラを持って丸一日、自然の中で活動しました。

きょうのこちらの狙いは、縁もゆかりもない農村を自分の目を見て、地域の人たちから自分の耳で話をきき、農村に暮らす人たちの想いを自分たちなりに感じてもらうことでした。

高校生たちのつぶやき

「こんな山の上に田んぼがあるんだ」

「串柿って食べられないんだ…」

…いろんな発見があったようです。

また、農協の名物組合長や生産農家の人たちは一生懸命に説明してくれたり、

高校生の出演依頼に付き合ってくれたりして、そのあたたかい人柄に高校生たちも感じるものがあったようです。



あすは砺波市で編集、あさっては福野町で水越先生や東京大学大学院生を交えての上映&意見交換です。はたしてどんなPRになるのでしょうか。とても楽しみです。

文責・チューリップテレビ服部寿人